

相手を「おもんばかり」

6月20日を目途に緊急事態宣言が再延長されました。これまで同様、不要不急の外出を自粛するとともに、手指消毒やマスクの正しい着用、黙食等、感染予防対策を緩めることなく徹底してください。もう少しです。皆さんの努力は必ず実を結びます。

今回は、皆さんに少しだけ「相手の思い」を想像することについて考えてほしいと思います。例えば、食事時の感染に不安を感じている友達がそばにいませんか。授業中に騒がしいことを迷惑に感じている友達がいませんか。周囲で誰かの軽率な発言に傷ついている友達がいませんか。学校には仲の良い友達も、そうでない友達もいます。でも皆、縁があって同じ学び舎に通う仲間です。その仲間が何を感じて思っているのか、少しだけ考えてほしいです。

特に、SNSでのやり取りは、**誹謗中傷は論外として、正しく意図が伝わらないことに注意しなければなりません**。発信した情報に対しての「いいね」を求め、支えにしている人にとっては、より多くの人に情報を発信することが日常化していると思います。しかし、**表現が十分でなく意図が正確に伝わらない情報を発信した場合、その情報は発信者が望まなくても拡散し消去できなくなるリスクがあり、結果、自分だけではなく周囲の大切な人にも大きなダメージを与えてしまいます**。

だからこそ、日ごろから相手を「おもんばかり」ことが大切です。元気のない友達になんと声をかけますか。約束を守らない友達になんと言いますか。その言葉がどのように相手に伝わると思いますか、考えてみてください。**自分の思いを正しく言語化し伝えることは、社会に出てからも求められます**。



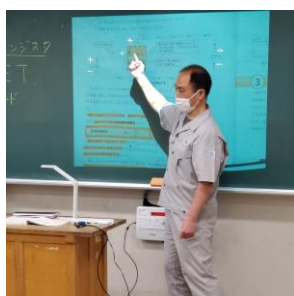
ぶらり、あらこう散歩

【全日制】先週金曜日、3年生対象の進路行事として「卒業生を囲む会」を実施しました。本校を卒業し、進学及び就職した先輩4名から、進路決定の際に努力したことや、今、高校時代を振り返り「やっておけばよかったこと」などについての話を聴くことができました。



一番印象的な話だったのは、「**高校時代と、社会人との大きな違いは時間**」「**社会に出ると勉強する時間がない**」「**高校生の時にもっと資格取得にチャレンジしておけばよかった**」です。さすが、職業高校ですね。高校時代に学んだ知識や技術を活用して就職先を選択するからこそ、就職後も学びが継続するのです。だからこそ、**時間がたくさんある高校時代に「多くの資格」「検定の上位級」に挑戦することが大切だ**と改めて感じました。社会に出る準備です。

【定時制】定時制の工業科の渡邊先生の授業に感動しました。しっかりと教科書の内容を教科書を使って指導する「電子回路」の授業では、先生の職業人を育てるという熱意や専門性の高さとともに、「**学校での学びは決してテストのためだけではない**」「**社会に出てから、必ず高校時代の学びに立ち戻らないといけない時がある。その時に教科書に戻り、一人でも読めるようになっていれば、必ず助けになる**」と指導者としての太い芯を感じました。



教科書の内容を、教科書を使い説明する。当たり前のことですが、そのためには、授業の狙いを的確に絞り、板書を必要最小限に抑え、皆さんが理解できるよう巧みに言葉を置き換え説明、他の授業で学んだことや実習での体験を引き出す指導等、職人技が求められます。皆さんの学びは、教科書に集約され**学びの「バイブル」となります**。きっと教科書は、今だけでなく未来も、多くのことを示してくれますので大切にしてくださいね。

安心して突き進め！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」